

寄稿

協働を大きく育てる年に

小田原市長 加藤憲一

新しい年の幕が開きました。昨年は、市長就任後に地道に蒔いてきた種が、一気に芽を出し始めた年。そして今年、それが大きく育つ年となるでしょう。

先駆的な市民参画の取り組みなどで「地域づくり総務大臣表彰」を受賞した新総合計画は、いよいよ4月から始まりです。「市民の力で未来を拓く希望のまち」を将来都市像と定め、

厳しい財政状況の中でもしっかりと未来への投資を行いながら、「新しい小田原」の形を具体的に創り上げていきます。市民力と協働で

まちづくりを進めてゆく上での指針となる自治基本条例も、制定に向けて追いつみの作業を進めます。

地域では、昨年全25の自治会連合会エリアごとに住民の皆さんが策定した「地域別計画」を踏まえた、地

域コミュニティ活性化への取り組みが、今年は更に具体化するでしょう。

各分野の課題解決は、地域福祉の充実に向けた「ケアタウン構想」や、身近な自然環境の再生を目指す「環境再生プロジェクト」、あるいは生ゴミの循環と資源化に向けた「いきごみプロジェクト」など、それぞれのモデル事業が、今年はより本格化していきます。

交流人口拡大と地域経済振興に向けては、恵まれた地域資源を活かしての「無尽蔵プロジェクト」が着実に育ちつつあり、今年はその成果を市民の皆さんと共有できるでしょう。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農薬、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

3大開発案件も、一歩ずつ

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力

(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F

TEL.0465-21-5260

(月・水・金 10:00～17:00)

http://www.katoken.info